⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、3,708億円の支払超過であって、前年同期（１兆2,577億円の支払超過）に比べ、8,870億円支払超過額が減少した。収入は、前年同期（２兆4,081億円）に比べ、5,159億円減少して１兆8,921億円となった。一方、支出は、前年同期（３兆6,658億円）に比べ、１兆4,029億円減少して２兆2,629億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

保険の収支は、収入14兆1,643億円、支出12兆6,975億円、差引き１兆4,668億円の受取超過であって、前年同期（6,068億円の受取超過）に比べ、8,600億円受取超過額が増加した。

３　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

| 区分 | 平成29年度第４・四半期 | | | 前年同期 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 発行（借入） | 償還 | 差引き | 発行（借入） | 償還 | 差引き |
| 国債等 | 350,498 | 151,323 | 199,176 | 362,793 | 177,708 | 185,085 |
| 国債（１年超） | 335,539 | 137,862 | 197,676 | 349,357 | 166,271 | 183,086 |
| 借入金 | 14,960 | 13,461 | 1,499 | 13,436 | 11,437 | 1,999 |
| 国庫短期証券等 | 780,394 | 706,488 | 73,907 | 813,595 | 633,627 | 179,968 |
| 国庫短期証券 | 664,893 | 590,987 | 73,906 | 698,095 | 518,126 | 179,968 |
| 一時借入金 | 115,501 | 115,501 | 0 | 115,501 | 115,500 | 0 |

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、19兆9,176億円の受取超過であって、前年同期（18兆5,085億円の受取超過）に比べ、１兆4,090億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行33兆5,539億円、償還13兆7,862億円、差引き19兆7,676億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆4,960億円、償還１兆3,461億円、差引き1,499億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、７兆3,907億円の受取超過であって、前年同期（17兆9,968億円の受取超過）に比べ、10兆6,062億円受取超過額が減少した。国庫短期証券の収支は、発行66兆4,893億円、償還59兆987億円、差引き７兆3,906億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,501億円、償還11兆5,501億円、差引き０億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

| 区分 | 窓口収支 (A) | 国庫内振替収支 (B) | 計（実質収支） (A)＋(B) |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | △ 10,777 | △ 86,703 | △ 97,480 |
| 特別会計等 | △ 21,592 | 92,125 | 70,533 |
| 財政投融資 | 5,773 | 36,139 | 41,912 |
| 外国為替資金 | △ 3,708 | 3,025 | △ 682 |
| 保険 | 14,668 | △ 20,286 | △ 5,618 |
| その他 | △ 38,327 | 73,247 | 34,921 |
| 小計 | △ 32,370 | 5,422 | △ 26,947 |
| 国債等 | 199,176 | △ 10,448 | 188,727 |
| 国債（１年超） | 197,676 | △ 7,023 | 190,653 |
| 借入金 | 1,499 | △ 3,425 | △ 1,926 |
| 国庫短期証券等 | 73,907 | 5,026 | 78,933 |
| 国庫短期証券 | 73,906 | — | 73,906 |
| 一時借入金 | 0 | 5,026 | 5,026 |
| 合計 | 240,713 | — | 240,713 |
| 調整項目 | 578 | — | 578 |
| 総計 | 241,291 | — | 241,291 |

**第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）**

△印は支払超過（単位　億円）

| 区分 | 平成29年度第４・四半期 | 前年同期 |
|---|---|---|
| 国庫短期証券の発行・償還（△） | △ 101,284 | △ 202,098 |
| 特別会計の債券売・買（△） | — | — |
| 財政投融資 | — | — |
| 国債整理基金 | — | — |
| その他 | △ 142,926 | △ 108,383 |
| 計 | △ 244,210 | △ 310,481 |

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、24兆4,210億円の支払超過であって、前年同期（31兆481億円の支払超過）に比べ、６兆6,271億円支払超過額が減少した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達はなく、資金返済10兆1,284億円、差引き10兆1,284億円の支払超過であって、前年同期（20兆2,098億円の支払超過）に比べ、10兆814億円支払超過額が減少した。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。なお、前年同期も、特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、14兆2,926億円の支払超過であって、前年同期（10兆8,383億円の支払超過）に比べ、３兆4,542億円支払超過額が増加した。

**第３　政府預金（別表５及び別表６参照）**

財政資金対民間収支（24兆1,291億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（578億円の受取超過）を除いた収支は、24兆713億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、24兆4,210億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（15兆4,772億円）に比べ、3,497億円減少して15兆1,275億円となった。